

*家庭・地域の教育力を高め、青少年の健全育成に努めよう。
 *審議会等政策決定の場へ女性の参加を促進しよう。
 *循環型社会をめざし、地球環境を守ろう。

県婦連 小くおか

第 50 号

発行
 福岡県地域婦人会連絡協議会
 〒812-0046
 福岡市博多区吉塚本町13-50
 発行責任者 木下 幸子
 TEL 092-643-1440

新年明けまして
 おめでとうございます。
 皆様方のご健康とご多幸を
 心からお祈り申し上げます。

『安全安心な社会を願って』

福岡県地域婦人会連絡協議会

会長 木下 幸子



新年、今年は5月にも新たな年をむかえる年であり、いろいろな催し物が準備されています。

私たち県婦人會も11月に、九州地区地域婦人會大会をホテルオークラ福岡で行います。

開催場所も替え、いろいろなご意見、ご提案をいただき福岡での新たな九州大会として開催したいと思えます。皆様のご協力よろしくお願ひいたします。

さて、昨年も、自然災害に翻弄された1年となりました。

私たちは、自然災害を防ぐことはできません。しかし、事前に準備し備えることにより、被害を最小限にし、復旧を早めることができます。

考えてみれば私たち婦人會の取組は、ひとつひとつが地域の安全安心の備えに繋がっているものばかりです。今すぐに必要なものではないかもしれませんが、おせっかいかもしれません。しかし、何かあった時には必ず必要となるものばかりです。

日頃の婦人會の活動が安全安心な社会の構築の一助となると信じていますし、そうなるよう真摯に取り組んでいきますよ。

しかし、災害は起こらないことが一番です。今年は災害のない平穏な日々が続くことを願ひたいと思います。先日引退した貴乃花親方が田川市にいられた際、テレビのインタビューで呼び名をきかれ「みなさん小さいころから面倒をみてもらっている方で光ちゃんとはばれたので光ちゃんでもいいましよう」と笑顔で答えていました。

私たち婦人會はこれからも、子どもたちがいつでも笑顔で帰ってこられるように地域をまもり、楽しく元気に笑顔で活動していきますよ。

受賞おめでとうございます



宇美町連合婦人會



みやま市女性防火俱樂部



木下 幸子 会長 (中間市)

日本赤十字社福岡県支部
 創設130周年記念赤十字大会

ヒルトンシーホークにて赤十字大会が開催されました

平成30年11月21日(水)

小川県知事福岡県支部長のご挨拶の中で「今、災害や紛争が世界各地で頻発し、赤十字活動への期待が大い。とあいさつされました。

表彰式では、赤十字奉仕団などで長年従事した個人・団体に「金色有功章」などの授与があり私たち奉仕団も感謝状をいただきました。これからの力のとなつて奉仕活動をしていきたいと思ひます。

- 〔日本赤十字社金色有功章〕
 木下幸子(中間市)
 秋尾房子(筑紫野市)
- 〔日本赤十字社銀色有功章〕
 野間口幸江(八女市)
 野島輝美(太宰府市)
 日本赤十字社感謝状
 久留米市赤十字奉仕団
 (以下赤十字奉仕団省略)
 柳川市・八女市・筑後市
 大川市・中間市・筑紫野市
 春日市・太宰府市・福津市
 朝倉市・みやま市
 うきは市・那珂川市
 粕屋郡・遠賀郡・田川郡
- 〔支部長感謝状〕
 奉仕者功勞(金枠)の部
 白井静子(うきは市)
 吉留節子(宇美町)
 安河内浩子(桂川町)
 北村真弓(みやま市)
 廣石福子(大牟田市)
 池田穂波(那珂川市)
 奉仕者功勞(銀枠)の部
 井上節子(飯塚市)
 吉田春枝(岡垣町)
 池田博子(久留米市)
 小田晴美(春日市)
 小田晴美(小竹町)
 篠田紀代子(朝倉市)

婦人會への思い

福岡県男女共同参画センター「あすばる」センター長 神崎 智子



私は築城町(現在の築上町)出身で、子どもの頃、母親が地域の行事や共同購買のお世話などの婦人會活動をするのを見て育ちました。そのため、婦人會は身近な存在であり、地域を支える重要な役割を担っていると思っていたので、以前の職場では、北九州市やインドネシアの婦人會活動の調査・研究を行いました。

インドネシアには、町内會や婦人會があります。町内會制度は、太平洋戦争中の日本の占領時代に日本が決めた「トナリグミ」制度が、インドネシア風にアレンジされて今も定着しています。

一方、インドネシアの婦人會は、1970年代に村落の近代化計画の一環として、栄養改善や衛生管理などの知識を普及させるために始まった活動で、「PKK(ペカカ)」と呼ばれ、80年代、90年代には「開発独裁」と言われたスハルト大統領によって、女性を国家計画推進の担い手に位置づけるために、「家族福祉運動」として全国的に推進されました。

1998年にスハルト政権が倒れた後も、豊かで文化的な家族の実現のために婦人會活動は重要であるとして、PKKは存続されました。地方分権が進められている現在は、PKKの目標には、家族福祉に加えて、地域のエンパワーメント、つまり、婦人會の活動によって地域の発展を図ることが掲げられています。たとえば、進行しつつある高齢化に向けて、婦人會と郡の保健所が連携して高齢者対象の検診・健康教育を開催したり、女性や子どもに対する暴力防止のための啓発活動などを行ったりしています。

このようにどの国でもどの時代でも、婦人會は家族の幸福や地域づくりを担う地域の財産です。福岡県地域婦人會連絡協議会の皆さまが、日ごろの学習活動によって財産価値を高め、活動をおして地域づくりに貢献されていること心から敬意を表します。

福岡県地域婦人會連絡協議会がますますのご発展を祈念申し上げます。

義援金ありがとうございました。

(西日本豪雨災害) 金額 345370円
 金 日赤福岡県支部へ贈呈

福岡県防災講演会 シニアボランティアセミナー

期日 平成30年9月3日(月)
場所 福岡センタービル会議室

近年、毎年のように大規模な自然災害が全国各地で発生しています。今年7月の西日本豪雨災害で広島なども大きな被害を受け、現在までに19万人のボランティアが入っているそうです。

復旧・復興を担う人材として公務員や民間会社を退職したシニア層の活用が脚光を浴びています。被災地に直接必要な専門的分野に加え、豊富な人生経験から被災者に寄り添う形の復興対応に向けた組織マネジメントなど即戦力としての活動が期待されています。

講師の福岡管区気象台長・弟子丸卓也氏とボランティア支援団体ネットワークの鈴木淳子氏の講演がありました。自分は大丈夫なかなと思いがちであるが、普段から災害に対する準備を忘れないことが大切であり、自分の身を守るようになります。

また、日本人によるものか遠慮する傾向にある。常に地域住民とコミュニケーションをとり信頼されている人が皆さんの困り事を聞くことが連携を具体化するために大切なこと。普段から、沢山のひとと顔みしりになりましょう。

これから私たちシニアもライフプランの一環としてそのポテンシャル(潜在能力)を広く地域に還元していきます。(小田)

家電製品に関する消費者懇談会

期日 平成30年11月6日(火)
場所 はかた近代ビル

九州電力の主催で毎年行われる懇談会です。今年の猛暑対策として75歳以上の高齢者には料金10%割引を行い、他にも様々な生活トラブルサポートを展開するなどのサービスをされているようです。

12月1日から、新4k、8k衛星放送が始まります。4k放送受信設備の電波漏洩問題として、Wi-FiとBluetoothに影響が出てくる可能性があるようです。ノイズが発生した時は、アンテナ機器をSHマーク付きのものに交換して下さい等々。

最新技術の進歩は目覚ましく、ニュース等、多方面から情報を的確にとらえておかねばならないと感じました。

(出席:吉留・野上・乙藤)

清流の国ふく 未来をつくる女性の力、婦人の輪

期日 平成30年10月4日(木)・5日(金)
場所 長良川国際会議場

織田信長が天下統一を目指した金華山にそびえる岐阜城、清流長良川のある岐阜県で全国大会が開催されました。

近年急速に進む少子高齢化に伴う地域社会の問題や頻発に起る自然災害に対する防災・女性の活躍と男女共同参画・環境・歴史の5分科会で熱心に討議されました。

交流会では郡上八幡おどりなどが披露され楽しいひとときでした。二日目の記念講演では、静岡大学名誉教授小和田哲男氏による「美濃戦国史の魅力」信長から関ヶ原」が語られました。

全体会では宣言文が読まれ、男女共同参画社会の実現に向けて行動しますなど8項目が決議されました。次期開催は平成31年10月1日(火)・2日(水)、青森県です。(池田穂)

第70回九州地区地域婦人大会(宮崎大会)

期日 12月12日・13日(宮崎観光ホテル)
大会テーマ(全体会・分科会)
一人に寄り添い地域を支える婦人活動
輪(WA)・和(WA)・笑(WA)

あすばるフォーラム2018 プレイベント

期日 平成30年11月17日(土)
講師 安武信吾氏

「あなたは子どもに何をのこせますか」
はなちゃんのみそ汁の映画監督阿久根知昭さんをゲストに迎え、「あすばる」神崎智子センター長と3人でトークショーがありました。

20代で乳がん、結婚、出産を経て、肺がんに転移、33才で亡くなった千恵さん。「食べることが生きること、1人でも生きられる力を身につけて」との約束とはなちゃんには5才からみそ汁を毎日作っています。涙なくしてはきけない講演でした。

こんな話を聞きながら、自分の子育てをふり返り、反省ひとしきりでした。(小田)

第17回健康21世紀福岡県大会

期日 平成30年10月21日(日)
場所 天神スカイホール

「めざせ健康メダル みんなの健康よいどん」と題して県民が健康でこころ豊かな生活を送るためには適切な食生活や運動週間を身につけることにより介護等の必要がなく健康で自立した生活を送ることができ期間である健康をのばすことが重要であることを目標に私達婦人会のテーマは「母と娘の介護予防」と題して尿もれ体操を行いました。

大田副知事も一緒に体験をいたいただきました。又母娘と一緒に来て話を聞かれたり男性も男性スタッフから説明を聞かれて狭い開場ながら沢山の参加がありました。(土場)



あすばる男女共同参画フォーラム2018 「誰もが活躍できる社会に向けて 一歩踏み出すために」

期日 平成30年11月24日(土)
場所 クローバープラザ

11月24日にクローバープラザで行われました。講演は元内閣府男女共同参画局長の名取はにわ氏。男女共同参画社会基本法の特徴に、前文が議員立法であり男女共同社会の実現のために、ずっと継続してその形成を目指す必要があること、そしてこれから進めようというプログラム法であることと説明。

世界ジェンダーギャップ指数114位から見る日本の現状は「子育ては女性の仕事」という考えから約5割の女性が仕事を辞めている。女性に経済力がなければ、健康・教育は難しく、日本経済のためにも女性は日本の潜在力であると強く述べられました。最後に、国連で採択された持続可能な開発目標(SDGs)では、5ジェンダー平等が根底にあり、私たちは、さらにもう一歩を一緒に取り組んでいきますと結びました。(大木町 野口)

福岡県消防学校で 教育訓練に参加して

期日 平成30年6月6日(水)
9時30分～15時
場所 福岡県消防学校(嘉麻市)
参加者 桂川・飯塚市女性防火クラブ 26名

- 1 消防職員並びに消防団に対する教育訓練
 - (1) 初任教育及び基礎教育
 - (2) 専科教育
 - (3) 幹部教育
 - (4) 特別教育
 - 2 その他の教育
 - (1) 自衛消防隊教育
 - (2) 少年消防・女性防火クラブ教育
 - (3) 消防防火関係機関研修
- 高層訓練棟 家屋火災消火訓練施設での実地訓練をしました。停電のときは、下に屈み手で壁に沿って移動すること。

※防災対応型防火訓練について
「シナリオのない防災訓練」出くわした場の状況、各自の判断で行動しなければならぬ。
※実災害に対する即時対応能力を養う。
※防災訓練とは何ぞやを知ることが大切である。
※できること、出来ないことを体感可能。
※避難のタイミングを見極めて、情報が身を守り防災訓練に参加することがメリット。地域で協力して災害に備えましょう。(井上)

あなたを狙う悪質商法
いりません・帰って下さい
はつきり意思表示

※高齢者の消費者
トラブルを地域で防ぐ

① 気づき ② 声かけ ③ 相談

消費者ホットライン188に電話をして下さい

地域だより

中間市婦人会60周年記念イベントを終えて

中間市婦人会

昭和33年(1958年)に中間市が誕生し、私たち婦人も「中間市婦人会」として新たなスタートを切り、平成30年6月29日中間市婦人会としての60周年の記念イベントを実施しました。60年すべてが順風満帆ではありませんでしたが、一步一步着実に歩んでまいりました。



イベントでは、「避難所運営に女性の視点を生かす」と題し、昨年の九州豪雨で被災した朝倉市職員柳瀬ユミさんに講演をしていただきました。「今、婦人会がしつづつ減ってきている中、中間市婦人会は人との繋がりを大事にして活発に活動されているのがとても素晴らしい」と言葉をいただいております。私たちは、より前向きに地域社会へ貢献することで、婦人会の活動を中間の地に根ざしたものにし、人と人の繋がりを大切にしていきたいと思っています。

また、東日本大震災の復興ソング「花は咲く」に乗せた会員によるフラダンス、保育園児・幼稚園児の楽しいダンスもありました。そして、防災ファッションショーを行い、スカーフや上着を生かした防災へのアイデアを披露しました。さらに、赤十字社のアイデア商品である「水に浮かぶデイベック」の紹介では、中間市長を私がモデルとなり、華やかに紹介していただきました。

60周年記念イベントは、東日本大震災以来大きな災害が引き続いていくことから、災害対策が主なものとなりませんが、婦人会活動は地域社会に貢献し、今以上に中間市に根付かせていくための活動の節目となりました。



子育て支援

「住みたい町、住み続けたい町岡垣」、町のエンゼルプランの重点施策の一つとして子供たちの遊び場を通じて健全育成や体力増進を指導し、健やかな成長を支援する児童センター「こども未来館」が平成16年に建設されました。

そこで婦人会では、集まる子供たちと一緒に遊びをしたり、おにぎり・だご汁を提供しています。ある3人の幼い子を連れてお母さんから「こんなにゆつくり食事をした事がない。」と、喜びの声をいただいた事もありました。この活動は、14年間続いております。

また、海老津小学校より学校の教育活動の依頼があり、毎年1回、1年生の「遊び体験学習」の手伝いをさせていただいております。お手玉・フラフープ・おはじきなど一緒に遊び、初めは少し緊張したり、はにかんだりしていますが、すぐに打ち解け、子供たちの笑顔、笑



岡垣町婦人会

水環境フェスティバル スイ、水、すいに参加して

柳川市地域婦人会連絡協議会(鳩添)

8月4日(5日)第11回スイ、水、すい祭が開催されました。私達柳川市地域婦人会は実行委員会団体として毎年参加します。水郷柳川水都として私達婦人会は水の恵に感謝し川を汚さない活動を石けんづくりを通して行っています。体験ブースを設置し廃油石けんとホウ酸ダンゴづくりを親子で楽しくつくります。イベントを毎年楽しみにしているお客様もあり大盛況。

那珂川市婦人会になりました!!

那珂川市婦人会

平成30年10月1日に那珂川市が誕生しました。昭和31年、南畑村、岩戸村、安徳村の3村合併で誕生した那珂川町は、62年の町制の中で新幹線J R博多南線の開業で人口が増加、5万人を突破して他市町村と合併することなく単独市制施行することになりました。



2018/11/10

今まで慣れ親しんだ筑紫郡がなくなることは一抹の寂しさを感じますが那珂川市婦人会はこれからも変わることなく、ずっと住みたいまち、那珂川市になるようみんなで手をとり合って活動していきたいです。又、暮らしの中の景色や文化は変わることなく守っていかなければと思います。まちには伝統的な祭り、現人神社(全国津々浦々にある住吉神社の発祥の宮と呼ばれています)の流鏝馬(やぶさめ)や粟田溝(さくたのうなで) (日本書紀の記述には、神宮皇后が神さまへの祈願のために神田を定められ那珂川の水を引いて神田に入れようと溝を掘られた)が今もそのまま残っています。その他、古墳や史跡も沢山あります。那珂川市へどうぞお越し下さい。

小竹町90周年「九十寿」

小竹町男女共同参画会

小竹町は昭和3年、旧勝野村から小竹町と改称しました。今年90周年を迎えます。小竹町は福岡県のほぼ中央に位置し南北に流れる遠賀川沿いにあります。その昔から長崎街道として交通の要であり誇れる町、我がふる里、小竹町です。5年前、町づくり課がスタートし昨年小竹町観光まちづくり協会が発足しました。第1回目のイベントで小竹町長崎街道探検ツアー(9月16日(日))に行きました。キリンや象が通り又坂本龍馬が走った旧街道をタイムスリップ。役場職員がチョンマゲに着物姿で当時を再現し「エッホ、エッホ」とかごをかついて通り抜けました。準備したコーラや飲み物も完売し沢山の入達に喜ばれました。



2018/09/16

編集後記

沢山の原稿をありがとうございました。これからも楽しい記事のをのせていきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

編集委員

- 池田穂波、古場弘子、白井静子、安河内浩子、廣石福子、小田晴美、吉田春恵